

集中豪雨に 備えて



出典：(一財) 消防防災科学センター <https://www.isad.or.jp/>

近年、気候変動などの影響で、集中豪雨による洪水や土砂災害が頻発しています。

自然は、時に人間の力や想像を超える災害を引き起こします。しかし、私たち一人一人が予防対策をすることで、その被害を減らせます。

いざというときに落ち着いて行動できるよう、日頃から防災の正しい知識を身に付けておきましょう。

● 早めの情報収集を！

集中豪雨は天気予報などから情報を収集することで、あらかじめ対策を立てることができます。

● 早めの避難を！

天気予報などで、大雨が予報されているときは、大雨になる前に避難することが重要です。

逃げ遅れたときや、外に出るのが危険な状況の場合は、無理に避難せず屋内にとどまり、上層階や、崖から離れている部屋で身の安全を確保しましょう。

● 避難情報のポイント

避難に時間のかかる人は警戒レベル3で避難

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、「警戒レベル3 高齢者等避難」で危険な場所から避難しましょう。

避難する際に支援が必要な人のために、災害時避難行動要支援者名簿を作成しています。未登録の人は、危機管理課消防・防災担当 ☎(580)1899 に相談してください。

災害による危険がすでに差し迫っている場合は、災害対策本部室 ☎(501)2211 に相談してください。

● 警戒レベル4までに避難を

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待つてはいけません。

市ではホームページやハザードマップなどで防災についての情報を公表していますので、活用してください。

◇危機管理課(市役所新館3階)・各コミュニティセンターで配布

◇市ホームページからダウンロード



市総合
防災マップ



市の防災・
災害関連情報

ペットの 避難について

災害が起こったときは、ペットもパニックになる可能性があります。落ち着かせるとともに、リードをつける、ケージに入れるなど安全に配慮しましょう。

また、各コミュニティセンターなどの避難所では、小型の動物(犬、猫、うさぎ、げっ歯類、鳥類など)の同行避難を受け入れています。避難所では、飼い主と同じスペースではなく、指定のペットスペースでの管理となります。

避難所でのペット用品は、飼い主が用意する必要があります。ペットはストレスから体調を崩すこともあるため、十分な水や食料のほか、常備薬なども用意しておきましょう。

● 問い合わせ先

循環型社会推進課生活環境・
最終処分場担当

☎(580)1887



市ホームページ